

令和4年度も残りわずかとなりました。

～春の甲子園（センバツ）も開幕。WBCも舞台は米国へ～

春のセンバツ甲子園も開幕。WBCも明日・明後日の準決勝・決勝へと駒を進めています。

1 弓道部女子が遠的大会で優勝しました。

3月18日（土）に行われた「佐賀県高等学校弓道遠の大会」において、中村優里さん（2-3）が女子個人の部で優勝、古賀由夏さん（1-6）が第2位に輝きました。

2 吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。

昨日（3月19日）、吹奏楽部の第47回定期演奏会が武雄市文化会館で行われ、多くの皆様にご鑑賞いただきました。開催にあたり、広告掲載にご協力いただいた会社・企業・店舗等の皆様、ご理解・ご協力誠にありがとうございました。また、開催を支えていただいた3年生やOBの皆様にも感謝申し上げます。近い将来、吹奏楽部が甲子園のアルプススタンドで演奏できる日が来ることを期待しています。



3 進路講演会を行いました。

3月14日（火）に2年生を対象に、16日（木）に1年生を対象に「進路講演会」を開催しました。講師にベネッセコーポレーション・顧問の田川祐治先生をお迎えして、「志高く夢実現に向け充実した毎日を」（1年生）、「3年生＝受験生になる準備をしよう」（2年生）というタイトルで、新学期開始までのこの期間の過ごし方や新課程の大学入試情報や合格者からの1・2年生へのエール、効果的な学習習慣、模試の活用法、「現役合格に向けて」の学習計画の必要性、そして、受験生としての「覚悟」を決め、「執念」を持って「挑戦」してほしいとの思いを伝えていただきました。



4 国家公務員一般職とは？

国家公務員一般職（大卒）は「主として事務処理等の定型的な業務に従事する職員」と定義され、政策の実行を行い、企画立案を支える立場になります。職場としては、中央省庁（本府省）と地方機関（出先機関）とに分かれます。本府省を職場として選んだ場合は、国家総合職と共に国の政策立案に携わります。

◇本府省採用（霞が関勤務）・・・各府省に採用され、特定分野について専門的業務を行う。国の中枢、霞が関で主に企画立案を行い、スケールが大きな仕事ができる。

◇地方出先機関採用（地方勤務）・・・「〇〇省関東××局」といった出先機関に採用され、管区内の本局や事務局で活躍。採用先や配属先によっては窓口業務もあり、勤務地域はある程度限定される。

5 今週の名言・・・フレッド・ロジャースの言葉です。

「痛みを伴わない人生なんてありません。問題に立ち向かってこそ、私たちは成長するのです」

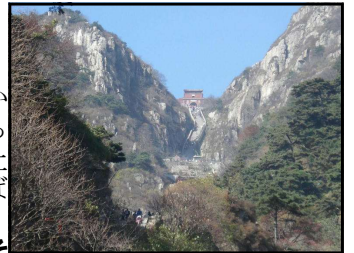
【解説】アメリカの伝説の司会者と称されたフレッド・ロジャースの言葉です。日本で言うと昭和の時代の大橋巨泉・鈴木健一・逸見政孝、平成の時代のみのもんた・宮根誠司、令和の時代の安住紳一郎・池上彰など時代を飾る名司会者のような存在の人と捉えればよいでしょう。テレビの司会者やキャスターをしていると当然いろいろなパッシングも時の政権や権力者からの圧力もあったことでしょう。そのような逆境にもめげずに進んで始めて世間の評価を勝ち取ることができたはずで。どんな仕事・生き方にも痛みは必ず伴います。諸君は今日の前の問題に立ち向かっていますか。

【フレッド・ロジャースについて】アメリカのテレビ番組の司会者。就学前の子供向け番組シリーズの「Mister Rogers' Neighborhood」（1968-2001）の制作、司会、楽曲の制作で有名であり、彼の心優しく、礼儀正しいソフトな語り口調と視聴者への実直な態度で人気を博した。また、大統領自由勲章や40数個の名誉学位、ピーボディ賞を受賞した。「テレビ殿堂入り」を果たし、2つの議会の議決により認められ、TV Guideの「全時代で最も優れた50人のスター」の中で35位にランクインした。ペンシルベニアの複数の建造物と芸術作品が彼を追悼するために捧げられた。スミソニアン博物館が彼のトレードマークのセーターを「アメリカ歴史の宝」として展示している。（参考：「Wikipedia」より）

6 今週の話成語・・・「泰山は土壤を譲らず」【問題】英語で表現すると？

度量の広い人は、どんな意見でもよく取り入れる、ということのたとえ。（出典：『史記』・李斯伝より）

【由来】『史記—李斯伝』に引用されている、紀元前3世紀の政治家、李斯の文章の一節から。李斯の仕える秦という国の王が、外国出身の人材を排斥しようとしたときのこと。自らも外国出身だった李斯は、王に向かって「泰山は土壤を譲らず（泰山が高いのは、どんな土でも自分の一部として受け止めてきたからです）」と述べて、外国人であっても有能ならば受け容れることが、国を強くする秘訣だということをととえています。なお、「泰山」とは、現在の山東省にそびえる、中国第一の名山です。史記には「泰山は土壤を譲らず、故に能くその大を成す。河海は細流を選ばず、故に能くその深を就す。」と書かれています。



7 入試によく出る漢字(その74)・・・長大(2012年度)・鹿大(2016年度)に挑戦！

- (1) 妻にはフシンであり、また不安であった。 (2) イゼンとして遠くに山脈が続き、
- (3) 女の声が弾んだ。 (4) 白い小さな羽毛のような花がオしげもなく花卉を開いている。
- (5) 清楚でユウガな鷺草の群落をもつ湖。 (6) 男をいとおしむ情にもウルオってきた。
- (7) 廃棄物処理は農家とレンケイして (8) もめ事解決には公正な調停チュウサイにあたる法曹のプロを養成する。
- (9) 病や傷の応急手当てができる人もカクダンに減った。 (10) ゲネツ剤や、頭痛、肩こり、生理痛用の常備薬
- (11) エンカクの場所へと通勤し、

8 今週の一冊・・・パット・パーカーの『女たちの沈黙』(早川書房)です。

敗戦により敵軍に囚われ、戦利品として男たちの手に渡った女たち。三千年もの黙殺のあと、彼女たちの声がブッカー賞作家の手でよみがえる。トロイア戦争、最後の年。トロイアの近隣都市リュルネソスが、ギリシア連合軍によって滅ぼされた。都市の王妃プリセイスは囚われ、奴隷となった。主は、英雄アキレウス――彼女の家族と同胞を殺した男。プリセイスは、やはり「戦利品」として囚われたイーピスらと、新たな日常を築いていく。ところが事態は急変する。アキレウスと不仲である総大将アガメムノンが、プリセイスを無理やり自分のものにしようというのだ。男たちの争いは激化し、軍内部は混乱を極める。そんななか、女たちに与えられた選択肢は、服従か死か。だが、プリセイスが選んだのは――。数々の戦争小説を手掛けてきたブッカー賞作家が、西洋文学の起源にある暴力へ遡り、抑圧された者たちの声を高らかに響き渡らせる傑作歴史小説！イギリスで40万部突破。(参考：本書裏表紙説明より)



【解説】英ガーディアン紙が「21世紀に書かれた最良の本の1冊」と評された本書を義妹が翻訳し、先月出版されました。武雄市図書館に入っていましたので、早速借りて読んでみました。義妹は、これまでもいくつかの著作を翻訳していますが、本格的な翻訳小説としては『バーナデットをさがせ！』(次号で紹介予定)に続くデビュー2作目となりました。本書の内容は、トロイア戦争の陰で翻弄され、沈黙を貫かざるを得ない女たちの視点から描かれている作品です。トロイア戦争とは、古代ギリシャのミケーネやスパルタなどによるギリシャ王国連合とトロイア王国との間で起こった戦争のことです。トロイア戦争はホメロスの叙事詩である「イリアス」で語られており、長い間神話であると考えられていました。しかし、考古学者シュリーマンによるトロイ遺跡発掘によって、実際に戦争の痕跡が出てきたため、全く架空の物語ではなくある程度事実に基づいていると考えられています。「トロイの木馬」の伝説は有名で、君たちもご存知でしょう。トロイア戦争に登場する英雄や神々などのキャラクターは魅力的で、今まで多くの小説や映画などの題材となりました。2004年に公開されて日本でも大ヒットとなったブラッド・ピット主演の「TROY」はトロイア戦争を元にしたエンターテインメント作品となっています。本書は長編で読み応えのある作品ですが、一気に作品世界に引き込まれていく作品です。

【作者・パット・パーカーについて】現代イギリスを代表する作家のひとり。1943年、ノースヨークシャーにて労働者階級に生まれる。大学で国際関係史を学び、歴史と政治の教師となる。1982年に最初の小説『アイリスへの手紙』を発表すると、文学賞を受賞するとともに映画化され、一躍注目を集めた。作家としての地位を確立したのは、第一次世界大戦を題材とする〈再生 Regeneration〉三部作(1991年～1995年、未邦訳)。とくに第三作「The Ghost Road」は95年のブッカー賞を受賞した。2000年、功績がたたえられ、大英帝国勲章(CBE)を受章した。2018年に発表された本書『女たちの沈黙』は英国で40万部を超えるベストセラーとなった。批評家からも高く評価され、英ガーディアン紙による〈21世紀に書かれた最良の本の1冊〉にも選出された。2021年、本書の続篇となる「The Women of Troy(未邦訳)」を発表している。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

9 世界遺産を巡る・・・第99回はギョレメ国立公園とカッパドキアの岩窟群(トルコ)

【解説】「ギョレメ国立公園とカッパドキアの岩窟群」はトルコにある世界遺産。

(登録：1985年)

カッパドキアにはキノコや塔の形をした奇岩が立ち並び、幻想的な風景が広がっています。この地には迫害を恐れ移り住んだキリスト教徒の洞窟修道院や謎を秘めた地下都市などが残っています。7～13世紀のギョレメ渓谷は、キリスト教徒の一大シェルターの観を呈していました。この時期、ビザンティン帝国による偶像破壊やイスラム教によるキリスト教徒迫害などを恐れ、渓谷に隠れ住むキリスト教徒たちが急増しました。先住者が使った洞窟を掘り広げたり、新たな洞窟を掘ったりして聖堂や修道院を造り、信仰を守ったのです。いずれも聖堂の入り口は他の岩山と見分けにくく造られました。事実、ギョレメとは「見てはいけないもの」を意味しています。しかし、そうした簡素な外観とは裏腹に、聖堂内部は華麗な色彩を使った聖像画で飾られていました。



カッパドキアにこのような独特な風景が誕生したのは、有史以前のことで、カッパドキアの東にあるエルジェス山と南西のハサン山で、300年前、大噴火が起きました。どちらも3000mを越える山です。その際、火山灰と溶岩が大量に堆積し、凝灰岩や玄武岩などの地層が形成されました。(参考：「世界遺産人気ランキング」より)

10 街角グルメを訪ねて・・・第99回は嬉野市の「Dining(ダイニング)すずしろ」です。

地元でも人気の「鉄人」の店です。一度は訪れたい名店ですが、敷居が高そうで行けずにお店です。お昼のランチメニューもあるとのこと、家族で行ってきました。かつて料理の対決番組の草分けであった「料理の鉄人」という番組がありました。和食の道場六三郎、フレンチの坂井宏行、中華の陳建一の3人の鉄人シェフと全国の名店と呼ばれるお店のシェフが決められたテーマ食材をいかに料理するかを競う番組でした。その番組に1998年に出演し、フレンチの名誉鉄人坂井シェフと「大根」対決にて勝利されたのを覚えています。そのシェフのお店が2014年「ダイニングすずしろ」としてオープンしました。この日は「伊万里牛きのこ味噌焼き六つ味噌」(2500円)・「すずしろ2段弁当」(2500円)を注文。「伊万里牛きのこ味噌焼き」は絶品でした。他にも「牛鍋定食」(1500円)・「温泉豆腐茶味豚しゃぶ」(1200円)・「ハンバーグ定食」(1050円)などランチはリーズナブルなメニューも豊富に用意してあります。住所は嬉野市嬉野町大字下宿乙1116-1です。



11 保護者の皆様へ・・・授業料・校納金等の未納のご家庭は至急納入してください。

【英語】◇ Sea does not choose a rill, Sea refuses no river (河海は細流を扱はず)

【正解】(1)不審 (2)依然 (3)はず (4)惜 (5)優雅 (6)潤
(7)連携 (8)仲裁 (9)格段 (10)解熱 (11)遠隔